



コスモス

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする子どもの育成」

あさがお日記

1年生が一生懸命に育てているあさがおが、今一鉢にいくつもの花が咲き、子どもたちと同じように元気いっぱいです。これも、毎日欠かさずに水やりなどのお世話をしている成果です。「水は葉っぱにかけるとはではなく、土にしみこみ、鉢にたまるぐらいに」など、育てながらいろいろなことを学び、あさがおの命を育てる責任感も育ててきているなあとうれしく感じる毎日です。

育てるだけでなく、あさがおの様子を観察日記にかくことにもがんばりました。莖や葉っぱやお花の様子を絵や文で書きました。自分のあさがおをよ〜く観察して、がんばってかいていました。その姿に、あさがおへの愛着が伝わってきました。



七夕の願いごと

2年生が七夕の願いごとを書きました。願いごとは、〈自分の将来の夢〉〈家族のこと〉〈友達のこと〉など様々ですが、みんな一生懸命に考えて、心を込めて、ていねいに書いていました。それぞれの子の願いごとをみると、「なるほどなあ。」「そう考えているんだ。」と感心したり、ちょっと驚いたりすることが多いです。

本校の七夕行事は、毎年、運動公園の秋山所長さんが笹を準備してくださり、子どもたちが思い思いに願いごとを書いてつるしています。今年も、2年生だけでなく、他の学年の子どもたちも願いごとを書いてつるしました。「願いごと」は、夢や志につながります。



三豊市探検

3年生が三豊市の探検に行ってきました。今回の中心は三豊市役所でした。各課だけでなく、市議会議員や危機管理対策本部も見学させていただきました。子どもたちからも、「やりがいは何ですか。」「市役所では何人ぐらいの人が仕事をしているのですか。」など、様々な質問をさせていただき、丁寧に答えていただきました。市役所本庁舎は財田町からは少し離れていますが、今回の見学で、身近に感じる事ができたと思います。

他にも、詫間のマリンウェーブを見学させていただいたり、道中のバスの車窓から見学したりするなど、三豊市のすばらしさをたくさん発見することができました。



七夕演奏会・七夕人形劇



七夕演奏会と七夕人形劇を、7月5日(金)と8日(月)の昼休みに行いました。自由参加だったので、大変多くの子もたちが集まり、低学年ラウンジで、楽しいひとときを過ごしてくれたのではないかと思います。

演奏会は♪七夕さま♪、人形劇は、ペープサート劇

『七夕さま』を行いました。どちらも教職員が演奏や出演をしました。何度も集まって練習した成果を発揮できたかどうかは、子どもたちの評価に委ねますが、演奏や出演をした教職員もがんばりました。

会に参加してくれた子どもたちには、《手作り七夕シール》を渡しました。みんな喜んでくれてうれしかったです。

※裏面に続く。

大久保 謙之丞さん5（映像を使った〈つどい〉での話より）

前回のつどいでは、謙之丞さんが道なき道を歩いて作った丸亀～高知ルート of 着工を祝って鍬踊りを踊ったことなどを勉強しました。

5回目のつどいはその続きでした。この工事は想定以上に費用がかかり、「このままでは、工事を続けられなくなる。どうしたらいいか。」と、謙之丞さんのところに相談が来ました。謙之丞さんは、「力になりましょう。」とお金を出すことにしました。謙之丞さんの家はお金持ちだったそうですが、それだけでは足りず、借金もしたそうです。それでも、謙之丞さんは諦めず、強い信念をもって工事を続けたそうです。その信念とは、【道は人々を豊かにする】です。

琴平公園や財田小学校にある謙之丞さんの像は、右手に何か持っています。子どもたちに尋ねてみると、「望遠鏡」「地図」などの答えが返ってきましたが、正解は【ハンドレベル】です。工事をする時に、水平などを見る機械なのだそうです。工事現場や建設現場で、もっと大きな測量レベルという機械を使っているのを見ることがありますが、ハンドレベルを持つ謙之丞さんの姿は、四国の発展のために尽力した、謙之丞さんの人生を表していると思います。

大久保 謙之丞さん6（映像を使った〈つどい〉での話より）

シリーズで行ってきた大久保 謙之丞さんについてのお話は、7月16日（火）のつどいで、最終回としました。

前回までで、謙之丞さんの偉業の一つが「四国新道（香川県の部分は讃岐新道）」だということを勉強していました。

「人々のために道を作った謙之丞さん、次は何を作ろうと考えたと思いますか？」と問うと、「瀬戸大橋」と答えてくれた子がいました。確かに、瀬戸大橋もそうですが、それよりも前に作ろうとしたもの、作ったものがありました。それは、鉄道です。四国中に、いえ四国を飛び出して岡山県にまで鉄道を延ばせば、四国の人々は豊かになると謙之丞さんは考えたのです。そこで出てくるのが瀬戸大橋です。

「道、鉄道、橋をすることによって、人々が豊かになることを願い、一生懸命に働いた謙之丞さん。作ろうと考えたものがまだあります。何だと思いますか？4年生が一番最近勉強してきたと思います。」

と問うと、「香川用水。」という答えが返ってきました。その通りです。そして、謙之丞さんは水を引くとともに、その時に作ったトンネルで、人々も行き来することを考えました。映像では、まだ工事中だった時の新猪ノ鼻トンネルの様子が出てきました。通ったことがあるかどうか尋ねたところ、ちらほらと手が挙がりました。「新猪ノ鼻トンネル」とははっきりと意識している子はやや少なかったです。私も、つい先日、初めて通ってきました。「昔はカーブを何度も曲がりながら山を登り、もとの猪ノ鼻トンネルを通ったなあ。時間がかかったなあ。」などと考えながら、新しいトンネルを通ってきました。ここにも謙之丞さんの思いが脈々と続いているのです。

「それにしても、謙之丞さんは当時の人々が思いつかないようなことを考えたり、それを成し遂げたりしましたが、なぜ、130年も昔にそのようなものすごいことを考えることができたのでしょうか？」

大久保 謙之丞さんのことを研究されている方の映像が出てきました。そして、その答えが出てくる直前に一時停止しました。

「私はこの方に先日お目にかかり、お話を伺いました。もし、みなさんもこれからのお勉強の中で、お話を聞きたいということになれば、きっとお話をしてくださると思います。」と伝えました。

「1学期続けてきた大久保 謙之丞さんのお勉強も、今日が最終回です。みなさんの中で、もっと調べてみたい。感想を書きたいという人がいたら、自主勉強ノートなどにどんどん書いてください。」

と締めくくりました。

4月に始まった新年度、1学期も終わりを迎えました。子どもたちは、どの子もよく頑張り、すばらしい成長を見せてくれています。これも、保護者の皆様や地域の皆様のおかげです。本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

夏休みが始まります。日頃は体験できないことを体験できる貴重な期間ですが、子どもだけで過ごす時間が多くなることなど、ご心配をされている保護者の方もいらっしゃるのではないかと思います。もし、ご心配なことや気になること、相談ごと（事故や病気なども含めて）がございましたら、いつでも財田小学校までお知らせください。どうぞよろしくお願いいたします。

これからも猛暑の日が続くと思われませんが、ご自愛ください。